

自然への思いやり できることから始めよう

大切な水を汚している元凶は、工場排水や生活系排水です。しかし、最近の調査によると生活排水が全体の70%を占めています。

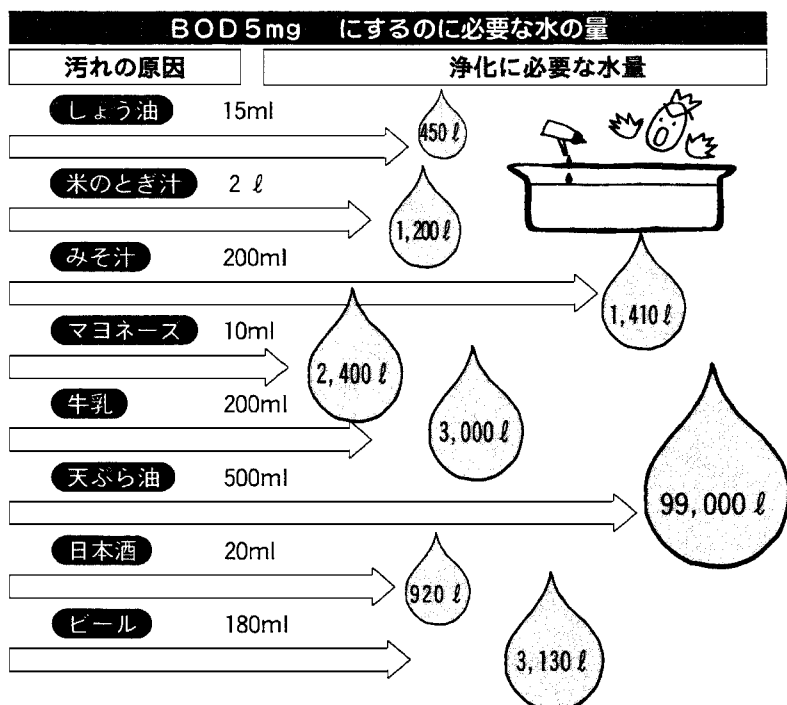
わたしたちが毎日汚れた水として流している生活排水。特に台所排水は最もよごれの量が多いようです。

ということは、ちょっとした気遣いや川や湖を生き返らせることにつながるのです。

たとえば、使用済みのテンブラ油などは、直接ながさず洗う前に油をボロ布などでふきとってから洗うとか、三角コーナーはろ紙袋をつけるなど、こまかいごみももらさないようにしましょう。洗濯の時、洗剤をあまり使い過ぎるのもよくありません。

ここにいくつか例をあげてみましょう。

たとえばわずか15mlのしょう油を流すと、きれいな水(BOD: 5 mg/ℓ)にするのに、風呂おけ 1.5杯(450ℓ)の水が必要となります。



地球のために私たちにできること

お米のとぎ汁

植木などにまきましょう。



お酒・ビール

飲み残さないようにしましょう。



調理くず・生ごみ

庭へ埋めたり、たい肥にしましょう。



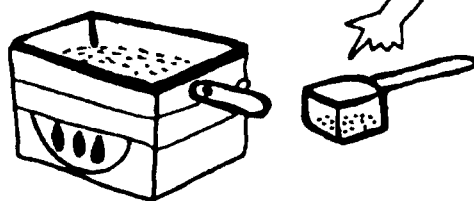
しょう油や汁物

必要以上に使わないようにしましょう。残ったときは新聞紙などに吸わせましょう。



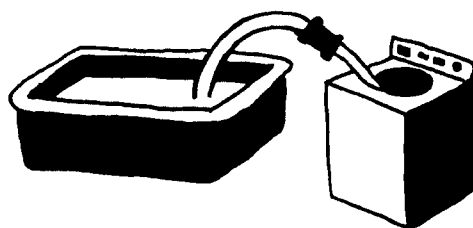
合成洗剤

できるだけ石けんを使いましょう。合成洗剤を使う場合は量を少なく、お湯を使って手早く洗いましょう。



洗たく

粉石けんを使いましょう。お風呂の残り湯などを使い石けんの量も少なくするようにし、すすぎの際も節水しましょう。



BOD

生物化学的酸素要求量をいいます。水中に溶けこんでいる有機物(汚染物質)がバクテリアによって酸化分解されるときに必要な酸素の消費量をいい、mg/ℓで表します。数値が高いほど汚濁がひどいといえます。

魚や生物で 川の水質を知る

「昔の川はきれいだった」「あの川では、いろんな魚が泳いでいたのに！」こんな思いはだれにでもあるものです。

川は汚れてくると、魚などの生態系がくずれてしまいます。清流でなくてはすめない魚は汚染によって死滅したり、上流にすみかをかえて生きのびたりします。また、汚れを好む生物が繁殖したりして、生態系が変わってしまうのです。

したがって、そこにすむ魚や生物をみれば、その川がどの程度きれいであるかの目安になります。

水 質	すんでいる魚や生物
き れ い	イワナ、ヤマメ、サワガニ、カワガサ、トビケラ
ややき れ い	アユ、オイカワ、シジミ、カゲロウ、カワニナ
やや汚れている	コイ、フナ、タニシ、ヒル、トンボ
汚れている	アメリカザリガニ、イトミミズ、モノアラガイ